

○現行制度の改善又は拡充を求めるもの

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他()		分野 <input type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	林務部
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	13 長野県森林づくり県民税の継続について		
提案市	飯田市		
提案要旨	<p>長野県森林づくり県民税（以下「森林税」という。）については、市町村における森林づくりが促進されるよう、柔軟かつ効果的な活用を検討するとともに、継続することを要望する。</p>		
提案理由	<p>平成20年度に導入された森林税は、税額・税率は変更せず、用途を一部見直した上で、課税期間が平成29年度まで延長されているところである。</p> <p>みんなで支える森林づくり県民会議が開催され、委員等の意見聴取を行っているとのことであるが、森林づくり県民税活用事業の実績が、当初の目標を達成できていないことなどを理由に、森林税の継続を問題視する意見もあると聴く。</p> <p>いずれの市においても、高齢級の森林が増えており、搬出間伐をはじめ、引き続き、継続的な森林づくりが必要な状況にある。また、森林の多面的機能を発揮するためには、多様な主体による森林づくりを推進し、木材利用に関する全県的な啓発活動が求められる。</p> <p>こうしたことから、社会全体の共通の財産である森林を守り育て、活用ができるよう、森林税による環境づくりが必要不可欠と思われる。</p>		
現況及び課題等	<p>・森林税を活用した事業は、県民はもとより市町村や林業事業者等にとっても重要な財源となっている。</p> <p>・飯田市では、森林づくり推進支援金事業を活用しているほか、地域の里山整備については、森林組合が中心となって森林税を活用したみんなで支える里山整備事業が実施されている。（森林づくり推進支援金事業：集落周辺の森林整備、竹林整備の支援、いいだ森林学校による森林ボランティアの養成、新生児用スプーン製作による木育活動の推進）</p> <p>・各市町村の課題解決につながる森林税事業の継続実施とともに、みんなで支える森林づくり県民会議や市町村等からの意見・要望等を踏まえ、柔軟かつ効果的な森林税の活用となるよう検討をお願いしたい。</p>		
法令関係	森林法、長野県森林づくり県民税条例		